

2016年

12月号

福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006
E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp
発行・福岡県学童保育連絡協議会



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、働きながらの子育てを頑張っておられる保護者の皆様、そして支援員の皆様、皆様が共に協力し合い、日頃よりご尽力してくださっていることに感謝し、合わせて県連協へのご理解ご協力ありがとうございます。10月11月の活動を報告します。

秋があっという間に通り過ぎ、朝晩が急に寒くなったと思ったら急に冬將軍の到来！ですが放課後の学童保育では、子どもたちは汗かきながら走り回っています。子どもは風の子ですね…。今年はインフルエンザも流行の兆しがあると言いき、マイコプラズマ肺炎も未だ終息の状態ではありません。幼保ではおたふく風邪もはやり出したということで、流行り病に気を付けなければならないようです。子どもたちの生活空間の環境整備や衛生管理、保護者さんに向けての注意喚起を行いながら子どもたちの生活を守りましょう。

10/16、11/3

第35回福岡県学童保育研究集会実行委員会

ここまで3回の実行委員会を重ね、今回の35回をどうするかという内容にするかを真剣に検討し合いました。そして、いよいよ出来上がりました！！

案内（リーフレット）を配信しましたので、直ぐ申し込んでください。

研究集会は、保護者と共に学童保育と子どもたちの生活を考える！という大きな柱があります。なので、自治体関係者、運営者、そして保護者の皆様のご参加を切に願っております。もちろん支援員の皆様もご参加お待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

— 実行委員会経過報告 —

● 実行委員会は第2回（10/16）第3回（11/3）に開催しました ●

☆第2回は第1回の議論、集会の「メインテーマ」と記念講演を中心に議論し、記念講演者を決定しました。

☆第3回は学童、支援員、保護者にとって、こんにち的な問題・課題を背景に考えて必要分科会を抽出し内容を議論しました。

1、第35回研究集会のメインテーマは

{保護者とともに育む学童保育～語り合おう子どもの思い！親の思い！支援員の思い！}

に決まりました。

2、記念講演者：河野伸枝（埼玉県飯野市かたくりクラブ支援員）

演題＜ひとりじゃないよ！支え合って語り合ってつながろう＞に決まりました。

3、分科会は第2回～3回に渡って議論の上9分科会と前回好評でした特設：あそびの広場に決まりました。

それぞれの分科会担当実行委員が講師と内容について確認し、中味を深めました。

前回と違った課題の分科会を入れ、またワークショップ参加型の新たな手法を取り入れているなど期待されています。

1分科会＝熊本震災と学童保育 2分科会＝ワークショップ「一人にならない子育てを！」 3分科会＝行政と学童保育 4分科会＝ワークショップ「支援員の仕事～」

5、6分科会＝毎回受講者が多い障害について今回は広汎性、発達障害について学びます。

7分科会＝特に配慮を必要とする子の対応を児童相談所から学びます。

8分科会＝あそびのワークショップ劇団の方からあそび心を学びます。

9分科会＝心支える絵本の読み聞かせを学びます。

特設＝あそびの広場

研究集会の案内パンフレットが完成しました。12月中には各行政・学童保育所の元に届けられる様に頑張っています。

＝事務局近くに寄ったおりにはお手伝いよろしくお願いします！！＝

10/29～30 第51回全国学童保育研究集会inあいち

＝第51回全国学童保育研究集会 in あいちに参加して＝（2016年10/29～10/30）

役員 松本秀樹（鞍手学童保育自然クラブ）

全国学童保育研究集会は毎年各県連が担当して開催されています。
今回で51回目になります。参加者は4736名。：福岡県参加者35名

新幹線で名古屋駅まで北九州・遠賀・直方・鞍手の各役員、支援員、運営委員長などで一緒の車両に乗合せして目的地までわくわく感一杯で出発。

1日目は全体集会（場所 愛知県体育館：名古屋城内）受付前にそれぞれ昼の弁当中食。受付は各地域ブロックで受付を済まし、館内の広さに少しビックリ（7,514名収容）
歓迎行事に愛知県内の学童保育に通う子どもたちの歌「放課後・・・」合唱580人の「やっところ」と鳴子のダンスの熱演会場のアンコールにも答えました。

①柴田実行委員長（金城大学）歓迎の挨拶

全国連協会長＝木田保男：学童を取巻く情勢報告

②現地の保護者からの報告（保護者運営を楽しむ）③被災地から 熊本・岩手・福島より
支援員・保護者からの苦労・困難・援助の支えでの話で胸が痛くなる報告。

今一度考えさせられる思いです。

記念講演＝田丸敏高＝福山市立大学：発達心理学「子どもの発達と大人の役割」子どもへの言葉かけについての話、冗談話も入り少し時間が足りない様な気がした。少し勉強もしたい気分になり本を買いました。

夜の交流＝北九州の支援員・運営委員・事務局・遠賀支援員・久留米の支援員で、県連事務局の案内で、名古屋市内のTVで放映された喫茶店レトロチックな店で、ここしか無いサンド・ハンバーグを賞味し感激、その後居酒屋で交流し1日目は終わった。

2日目は、ビジネスホテルを早々に出て分科会会場金城学院大学へ

9：30より分科会「自治体政策と地方自治の課題」講師：渡辺繁博（自治体研究所）に入りました。

- ①地方自治体とは憲法から・地方自治法を見る
- ②住民・首長・議員職員の位置と条例の関係についての解説
- ③町づくり、公民館の役割での社会教育
- ④学童保育の生命力は子どもたちと親のくらしを支えながら人を育てる機能を大切にしてきたこと、自治の力を鍛えてきたことなど講話した。そのあと、参加者の自己紹介と各地の問題を質問・討議。（参加者 30名）

＊今回参加して、全国の学童保育を取巻く問題（支援員の処遇・施設・指定管理・保護者の参加等々）色々な問題を抱えながら頑張っている被災地域や、都会では施設の狭さ窮屈な姿でも解決すると頑張っている様子を聞いて見て、また勉強し、大きな力をいただいた全国研でした。



（ヤットコで縄飛）



支援員 （北九州市小倉南区広徳学童保育クラブ）

初日の、子どもたちの歓迎行事にとっても感動しました。“やっところ”は、生活の道具が遊びの道具になる、遊びの原点を思い起こすことができました。子どもの視点に立つことの、わくわく感を忘れない大人であり続けたいと思います。被災地からの報告には、胸が締め付けられる思いになりました。同時に、あたりまえの日常があたりまえではないことを改めて感じ、子どもたちと過ごすかけがえのない日々を大切に過ごしていきたいと思いました。

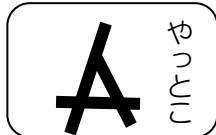
> 分会では、全国から参加する支援員の方々、保護者の方々と学童について語り合う中で、特にひらがなの“と”の大切さを学びました。子どもを真ん中に、保護者“と”学校“と”地域“と”支援員“と”が手をつなぐことの必要性を感じました。手をつないでいただける支援員になれるよう努力したいと思いました。

> 全国研に参加すると、学童の子どもたちに会いたくなる瞬間がたくさんあります。

2日間、学童と向き合う良き時間を過ごすことができました。全国研に関わって下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

支援員 （鞍手学童保育自然クラブ）

全国研 in あいちに参加し、初日は鳴子とやっこのパフォーマンスに、子ども達の漲るパワーを感じました。二日目の分科会「子どもの気持ちに気づく」では、各地から参加された方々の熱い想いに感銘を受けました。思い切って参加して本当に良かったです。



役員 （ふくし生協 直方市学童保育支援センター）

1日目、全国から集まった約4700人の人たちの熱気あふれる愛知県体育館で行われた全体会、まずは子どもたちの歓迎行事から始まりました。この中で特に印象深かったのは、「やっこ」を操るパフォーマンスです。「やっこ」とは3本の角材を「A」状に組んだ遊具で、竹馬のように遊びます。バランスを取るのがとても難しそうに見えましたが、子どもたちは曲に合わせて自身の体の一部のように操り、いくつも並べたタイヤを飛び越えていく様子に大歓声が上がりました。元々は里芋を洗うための農具だった「やっこ」を、38年前に名古屋市の指導員の方が「補助があれば1年生でも作れる遊具を」「子どもが自分に合うよう高さや長さを改修することで自発性も育つと考えた」との思いから遊具として発案されたそうです。色んな思いから受け継がれている「やっこ」遊び！と子どもたちのパワーに大きな希望と元気をもらいました。

また、特別報告の中では開催地名古屋の保護者、田中勝美さんの「保護者運営を楽しむ」という報告に、保護者会運営をしていた頃の自分と重ね、胸が熱くなりました。

11/11 柳川市学童保育支援員学習会

11/11（金）に柳川市学童保育支援員学習会を行うに当たり、今回初の講師を担当しました。約90名近くの支援員さんが参加してくださっていて「学童保育の役割とは？支援員の仕事とは？」について共に学習しあいました。皆さん一生懸命聞きながら話を聞いてくださりとても感動しました。

保育の中で壁に当たることは多々あると思います。今回もたくさんの質問がでて改めて私も学習することが出来ました。ありがとうございました。

11/13 主任放課後児童支援員研修開催

初めて開催した主任放課後児童支援員研修は、104名の参加がありました。

運営指針を元に「放課後児童健全育成事業の役割・育成支援の基本・子どもの最善の利益・職場倫理及び業務の内容」を学び、主任としての責任と専門性(力)は何か参加者で考え合い報告し合い、主任としての責任と専門力を確認し合いました。そして「支援員同士の支え合いとコミュニケーション(信頼関係)」のところでは、同じ職場で働く支援員同士の信頼関係がいかに子どもたちへの育成支援、保護者への就労支援に影響が出るのかを確認し合い、主任としての総括力・判断力が大事であると学び合いました。

そして午後からは、鍋倉先生による「そうはいっても主任は大変なんだ！さあ愚痴を吐き出し、そこから問題や課題を出し合い共有し合い、その解決を見つけてみよう」とワールドカフェを行いました。皆さん話し出すと鍋倉先生の声も聞こえないほどの盛り上がり、たくさんの問題や悩みを抱えていることが良く見えました。

<感想から>

- ・主任としての法規に則った取るべき行動の復習と現場の意見交換ともなり、すっきりした気分での明日からの仕事に向かえそうです
- ・自分の仕事の責任について考えさせられました。日常ただ時間が流れ仕事をやっていた自分に良い刺激になりました。明日からの学童の仕事に新鮮な気持ちで頑張ろうと思いました。
- ・初めて主任となりいろんな意見が聞けて少しすっきりしました。
- ・主任を長くしていますがただ長いだけで反省することがたくさんありました。たくさんの資料を読み直し自分を向上していきたいです。
- ・とても責任のある仕事だと再度認識しましたが、またそれが自分だけではなく、他の学童でも同じ問題を抱えていることが解り安心しました。これからはいろんな人の意見を聞き一つずつ問題解決したいです。

主任者研修を開催するの当たり、県連の支援員部会メンバーでかなり中身の議論を行いました。部員の皆さんの思いも込めて講話させて頂き、全て終了してからの最後の挨拶で、「皆さんが朝参加してこられた時は一日研修の重さからか眉間にしわがよっていましたが、一日研修した後の皆さんの顔は笑顔に包まれています。午前の支援員の専門力にこの『笑顔力』を一つ加え、私たちには子どもへも保護者へも笑顔で対応することも大事と思いました。皆さん明日からの保育に是非『皆さんのその素敵な笑顔』で「おかえり～」と言ってあげてください。」と結びました。

11/2~開催中 運営指針学習会（6ブロック会場）

県内6ブロック会場にて開催中の運営指針学習会は、12月4日を最終日として終了します。1月号にて報告します。

2016～2017 学童保育情報誌 発行
¥800—

全国連が毎年発行しています学童保育情報誌、2016～2017 年版が発行されました。毎年春に行う調査を元に・・・及び国の流れや学童保育に対する通達等、学童保育に関する最新の情報をお届けします。行政との要望や交渉、懇談時に活用したり、運営の改善等に活用できます。
購入したい方は、県連協事務局までお願いします。

日本の学童ほいく誌！ 12月号のみどころ



〔特集〕考えようこれからの学童保育
—— 子ども・子育て支援新制度

- ・子どもの権利としての学童保育をもとめて
- ・野々市市の学童保育をよりよくするために
- ・一人ひとりがのびのびとすごせる生活の場を
- ・共によりよい保育をつくるために
- ・県内の「学童保育施策」改善をめざして
- ・新制度実施後の大阪府内の状況
- ・大規模化の解消は待ったなしの課題です

＜講座＞子どもに豊かな放課後の生活を保障するために
第3回 学童保育におけるあそびを豊かに

学童期の子どもにとってのあそびの大切さ、幼児期とは異なる独自性（特徴）にも着目。

現状と課題
まんさい

★見ためもすてきなお・や・つ・・・市販のものをちょっとアレンジ！

☆子どもたちの作文やイラストを全国連に送り、子どもたちの作文やイラストを載せてもらいましょう！！ 開くのが楽しくなります。

詳しくは福岡県連協へ・・・

ほいく誌は、自ら購読して読むことが大事です！ 「学童に一冊ありますから」という声がありますが、そのほいく誌読んでおられますか？ 気になったところに線を引くことができますか？ 是非自ら購読してこそ自分のものになります。是非！！

購読申込待っています こちらも申し込みは福岡県連協へ・・・

<各種研修会案内>

第 35 回福岡県学童保育研究集会

加盟クラブや加盟個人の皆様、そして各自治体に、配信しております。
是非ご参加して頂き、皆様との出会いを、学び合いを楽しみにしております。

[参加についてのお問い合わせは県連協まで！](#)

<県連協活動予定>

★12月11日(日)AM 第35回福岡県学童保育研究集会第5回実行委員会

★ " PM 第1回県連協運営委員会

★12月13日(火)AM 厚生労働省「新制度説明会」

★12月15日(木) 志免町学童保育連合会 出前講座研修

★12月17~18日 全国学童保育運営委員会九州ブロック会議

★1月15日(日)AM 第35回福岡県学童保育研究集会第6回実行委員会

★1月22日(日) 第35回福岡県学童保育研究集会

HP をご覧になって、ぜひ加盟したいと思われたクラブ・個人・そして運営者の皆様へ

ご覧の通り、県連協は全国連とつながり、様々な情報を得ながら、学童保育を利用する全ての子どもたちへの育成支援、働きながら子育てする保護者への就労支援が出来るよう、情報提供や、県市町村への要望や懇談、相談業務、諸々の学習会を行い、皆様と共に頑張ろうと思っています。ぜひ共に！！

加盟して下さる場合は県連協事務局へご連絡をくださいませ

県連協事務局 ☎ 番号 093-662-6000 木下まで